

2026年度 飯南中学校 第1学年 国語科のてびき

1 教科の目標

- 色々な国語作品(小説・随筆・説明文・詩・短歌・俳句・古典)や漢字・文法の学習を通して、国語への関心を高め、自分の国語に対する感性を豊かにし、ものの見方・考え方を深め、国語の基礎学力を伸ばし育てよう。
- 色々な題材を通して、自分の考えをその時々に応じて、相手や仲間へ伝えたり、相手や仲間から聴き取ったりする力を養おう。
- 色々な題材をもとに、目的に応じて筋道を立て、文章を書いたりまとめたりする力を養おう。
- 色々な題材を通してその作品の意図する内容を的確に読み取り、しっかり把握する力を養おう。
- 言葉や文法についての学習を通して、しっかりした知識を身につけよう。
- 漢字や言葉を、正確に読み書く力、また意味を理解し正しく用いる力を養おう。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。	・定期テスト ・小テスト
②	思考・判断・表現	・考える力や感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・定期テスト ・小テスト ・話し合いの内容・様子 ・説明や発表の様子 ・課題レポート・作文 ・要旨や感想や意見等をまとめる問題
③	主体的に学習に取り組む態度	・国語に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 ・自分の学習状況を把握し、学習の進め方について考え、自らの学習を調整することができる。	・課題への取り組み ・授業態度・意欲 ・ノート・ワーク ・自主学習 ・振り返りシート ・定期テストの振り返りシート

4 学習の手引き

使用教材	教科書 国語1(光村図書) 副教材 スイッチ1(正進社) 学習漢字ノート1(浜島書店) すらすら基本文法(浜島書店)	もちもの	(左記以外に) 授業用ノート ファイル
学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> ○毎時間の授業において学習課題をしっかり持ち、課題に対して自主的に取り組む。 ○何事もじっくり考え、発想が広げられるようにし、疑問点を解決する努力をする。 ○協同学習を通して、学習課題に対して多面的に観たり考えたりする力をつける。 ○書かれたものを読んだり、相手の意見を聞いたりする中で、相手の意図を読み取る力をつける。 ○書いたり、相手に話したりするなど積極的に自分の考えや意見を表現する力をつける。 ○学習活動をふりかえり、わかったこと・課題を解決できたことの定着を図る。 ○得た知識をもとに、自分で考え、判断し、表現する力をつける。 	
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字練習や教科書の通読、難語句の意味調べを中心に言語に関する予習・復習を行う。 ○副教材のワーク類や、授業で出された課題に取り組みながら、自主学習を充実させる。 	

【国語科】年間指導計画 第1学年

月	単元名	内容
4	〈授業の約束やマナー〉 〈オリエンテーション〉 ・朝のリレー	世界各地の朝が連なる情景から、人と自然のつながりを感じ取り詩の広がりを味わう。
5	・野原はうたう	野原に息づく生命の姿を詩的に描いた作品を読み、自然の豊かさを感じ取る。 登場人物の心情・情景を想像し読み味わう。
6	・はじまりの風 ・音声の仕組みや働き	
7	・話の構成を工夫しよう ・漢字の組み立てと部首 ・ダイコンは大きな根？ ・ちょっと立ち止まって	身近な題材の比較・分類を通し、科学的説明の構成と論理を理解する。 視点を変えることで新たな気づきが得られることを考える。
9	・情報を整理して説明しよう ・空の詩 三編	空をテーマにした詩を通し、言葉の響きや表現技法の効果を味わう。 比喩表現の効果を学び、言葉の捉え方と表現の広がりを知る。
10	・比喩で広がる言葉の世界 ・読書を楽しむ ・文法(ことばの単位) ・大人になれなかった弟たちに……	戦争に翻弄された家族の姿から、命・平和について深く考える。 登場人物の心情の移り変わりを読み取る。
11	・星の花が降るころに ・聞き上手になろう ・漢字の音訓 ・「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ ・根拠を明確にして書こう	鳥の言語的行動を例に、説明文の読み方を学ぶ。
12	・文法(分の成分) ・いろは歌 ・蓬萊の玉の枝	古典の世界観や仮名遣いを知り、物語の魅力を味わう。
1	-「竹取物語」から	故事成語の背景を知り、教訓が現代にも生きることを学ぶ。
2	・今に生きる言葉 ・「不便」の価値を見つめ直す	便利さの裏にある問題を考え、不便の意義や価値の転換に気づく。
3	・進め方について考えよう ・少年の日の思い出	少年の心理変化を追い、人物描写から心情の変化を読み取る。
	・文法(単語の分類) ・二十歳になった日 ・漢字の成り立ち ・構成や描写を工夫して書こう ・1年間の学びを振り返ろう ・国語の力試し	主人公の心情から、成長や自立の意味を考える。

2026年度 飯南中学校 第2学年 国語科のてびき

1 教科の目標

- 色々な国語作品(小説・随筆・説明文・詩・短歌・俳句・古典)や漢字・文法の学習を通して、国語への関心を高め、自分の国語に対する感性を豊かにし、ものの見方・考え方を深め、国語の基礎学力を伸ばし育てよう。
- 色々な題材を通して、自分の考えをその時々に応じて、相手や仲間へ伝えたり、相手や仲間から聴き取ったりする力を養おう。
- 色々な題材をもとに、目的に応じて筋道を立て、文章を書いたりまとめたりする力を養おう。
- 色々な題材を通しその作品の意図する内容を的確に読み取り、しっかり把握する力を養おう。
- 言葉や文法についての学習を通して、しっかりした知識を身につけよう。
- 漢字や言葉を、正確に読み書く力、また意味を理解し正しく用いる力を養おう。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。	・定期テスト ・小テスト
②	思考・判断・表現	・考える力や感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・定期テスト ・小テスト ・話し合いの内容・様子 ・説明や発表の様子 ・課題レポート・作文 ・要旨や感想や意見等をまとめる問題
③	主体的に学習に取り組む態度	・国語に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 ・自分の学習状況を把握し、学習の進め方について考え、自らの学習を調整することができる。	・課題への取り組み ・授業態度・意欲 ・ノート・ワーク ・自主学習 ・振り返りシート ・定期テストの振り返りシート

4 学習の手引き

使用教材	教科書 副教材	もちもの	(左記以外に) 授業用ノート ファイル
	国語2(光村図書) スイッチ2(正進社) 学習漢字ノート2(浜島書店) すらすら基本文法(浜島書店)		
学習方法	<p>学 校</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎時間の授業において学習課題をしっかり持ち、課題に対して自主的に取り組む。 ○ 何事もじっくり考え、発想が広げられるようにし、疑問点を解決する努力をする。 ○ 協同学習を通して、学習課題に対して多面的に観たり考えたりする力をつける。 ○ 書かれたものを読んだり、相手の意見を聞いたりする中で、相手の意図を読み取る力をつける。 ○ 書いたり、相手に話したりするなど積極的に自分の考えや意見を表現する力をつける。 ○ 学習活動をふりかえり、わかったこと・課題を解決できたことの定着を図る。 ○ 得た知識をもとに、自分で考え、判断し、表現する力をつける。 <p>家 庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字練習や教科書の通読、難語句の意味調べを中心に言語に関する予習・復習を行う。 ○ 副教材のワーク類や、授業で出された課題に取り組みながら、自主学習を充実させる。 		

【国語科】年間指導計画 第2学年

月	単元名	内容
4	〈授業の約束やマナー〉 〈オリエンテーション〉 ・見えないだけ	身のまわりの「見えない存在」を想像し、詩の構造や言葉の広がりを楽しむ。
5	・アイスプラネット ・枕草子	登場人物との関わりから、主人公の成長を読み取る。 清少納言の随筆から、季節感や「をかし」の感性、古典の言語表現に親しむ。
6	・魅力的な提案をしよう ・クマゼミ増加の原因を探る ・熟語の構成 ・短歌に親しむ	調査やデータを基に原因を論理的に探る文章構成を学ぶ。 熟語の成り立ちを整理し、語彙力・漢字理解を深める。 短歌の形式と表現技法を学び、情景や心情を深く味わう。
7	・短歌を味わう ・言葉の力	作品に登場する例から、言葉の力を理解する。
9	・文法(自立語活用しない品詞) ・類義語・対義語・多義語 ・語彙を豊かに ・デジタル市民として生きる ・ヒューマノイド	情報社会における責任ある行動や情報リテラシーを考える。 AI やロボット技術の発展を題材に、現代社会の課題を読み取る。
10	・字のない葉書	家族の思いと戦時下の状況を静かに描き、言葉の持つ力を考える。
11	・表現を工夫して書こう ・敬語 ・同じ訓・同じ音をもつ漢字 ・モアイは語る	地球環境や文化遺産の視点から未来への課題を考える文章を読む。
12	・適切な根拠を選んで書こう ・文法(用言) ・扇の的―「平家物語」から	源平の戦いを背景に、勇壮で緊張感ある場面を楽しむ。
1	・仁和寺にある法師―「徒然草」から	人物の性格や教訓を読み取る。
2	・漢詩の風景 ・君は「最後の晩餐」を知っているか	詩の形式・韻律・情景を味わい、文化背景を知る。 名画の背景にある意図や象徴を読み取り、鑑賞の視点を深める。
3	・自分らしさを認め合う社会へ ・文法(付属語) ・走れメロス ・描写を工夫して書こう ・話し言葉と書き言葉 ・送り仮名 ・国語の学びを振り返ろう ・鍵 ・国語の力試し	友情・信頼を軸に、主人公の行動と心情を読み取る。

2026年度 飯南中学校 第3学年 国語科のてびき

1 教科の目標

- 色々な国語作品(小説・随筆・説明文・詩・短歌・俳句・古典)や漢字・文法の学習を通して、国語への関心を高め、自分の国語に対する感性を豊かにし、ものの見方・考え方を深め、国語の基礎学力を伸ばし育てよう。
- 色々な題材を通して、自分の考えをその時々に応じて、相手や仲間へ伝えたり、相手や仲間から聴き取ったりする力を養おう。
- 色々な題材をもとに、目的に応じて筋道を立て、文章を書いたりまとめたりする力を養おう。
- 色々な題材を通しその作品の意図する内容を的確に読み取り、しっかり把握する力を養おう。
- 言葉や文法についての学習を通して、しっかりした知識を身につけよう。
- 漢字や言葉を、正確に読み書く力、また意味を理解し正しく用いる力を養おう。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。	・定期テスト ・小テスト
②	思考・判断・表現	・考える力や感じたり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・定期テスト ・小テスト ・話し合いの内容・様子 ・説明や発表の様子 ・課題レポート・作文 ・要旨や感想や意見等をまとめる問題
③	主体的に学習に取り組む態度	・国語に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。 ・自分の学習状況を把握し、学習の進め方について考え、自らの学習を調整することができる。	・課題への取り組み ・授業態度・意欲 ・ノート・ワーク ・自主学習 ・振り返りシート ・定期テストの振り返りシート

4 学習の手引き

使用教材	教科書 国語3(光村図書) 副教材 スイッチ3(正進社) 学習漢字ノート3(浜島書店) すらすら基本文法(浜島書店)	もちもの	(左記以外に) 授業用ノート ファイル
学 習 方 法	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ○毎時間の授業において学習課題をしっかり持ち、課題に対して自主的に取り組む。 ○何事もじっくり考え、発想が広げられるようにし、疑問点を解決する努力をする。 ○協同学習を通して、学習課題に対して多面的に観たり考えたりする力をつける。 ○書かれたものを読んだり、相手の意見を聞いたりする中で、相手の意図を読み取る力をつける。 ○書いたり、相手に話したりするなど積極的に自分の考えや意見を表現する力をつける。 ○学習活動をふりかえり、わかったこと・課題を解決できたことの定着を図る。 ○得た知識をもとに、自分で考え、判断し、表現する力をつける。 	
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ○漢字練習や教科書の通読、難語句の意味調べを中心に言語に関する予習・復習を行う。 ○副教材のワーク類や、授業で出された課題に取り組みながら、自主学習を充実させる。 	

【国語科】年間指導計画 第3学年

月	単元名	内容
4	〈授業の約束やマナー〉 〈オリエンテーション〉 ・世界はうつくしいと	世界の美しさを再発見する視点を提示し、言葉の力で広がる価値観について考える。
5	・握手	人物の対話を通し、他者理解や人間関係の温かさを読み取る物語。
6	・説得力のある構成を考えよう ・相手や場に応じた言葉遣い ・学びて時にこれを習ふ（「論語」）	孔子の言行録から、思想・人生観を読み取り、現代とのつながりを考える。
7	・作られた「物語」を超えて	人間の認識や物語性について論じ、思い込みから自由になる視点を養う文学作品。
9	・熟語の読み方 ・俳句の可能性 ・俳句を味わう ・言葉の釣り糸を垂らす	俳句の構造・季語・「切れ」などを学び、表現の広がりを楽しむ。比喩を駆使して言葉の魅力を掘り下げ、表現の奥深さを感じ取る随筆。
10	・和語・漢語・外来語 ・実用的な文章を読む ・挨拶一原爆の写真によせて	原爆写真を背景に、命・社会・人間への深いまなざしを問いかける詩を読む。 ふるさとへの思いと時代の変化、社会背景による人間の姿を読み取る。
11	・故郷	
12	・慣用句・ことわざ・故事成語 ・漢字の造語力 ・複数の意見を読んで、考えよう	万葉集・古今和歌集・新古今和歌集に収録された和歌を通し、日本の伝統的表現と美意識を楽しむ。
1	・和歌の世界 ・君待つと（「万葉・古今・新古今」）	松尾芭蕉の旅の視点から、自然と人生の無常を読み取る。
2	・夏草「おくのほそ道」から ・それでも、言葉を	SNS時代の情報過多の中でも、言葉を使って他者と向き合い、思考し続けることの大切さを問いかける文章。
3	・話し合いを効果的に進めよう ・合意形成に向けて話し合おう ・本は世界への扉 ・温かいスープ ・アラスカとの出会い ・律儀な桜 ・私を束ねないで ・3年間の歩みを振り返ろう ・初日 ・国語の力試し	日常の出来事を通し、人と人をつなぐ温かさや気づきを味わう随筆。 大自然との出会いを通して生命観・自然観を深める文章を読む。 桜の姿を通し、人間の生き方や時間の流れへの気づきを描く随筆。 個の自由と自立を力強く訴える詩を読み、自己の在り方を考える。

2026年度 飯南中学校 第1学年 社会科のてびき

1 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる 平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の 基礎を次のとおり育成することを目指す。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト（知識・技能問題） ・授業内で行う白地図、資料読み取り課題
②	思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト（思考・判断・表現問題） ・節および章のまとめ（A～E評価） ・授業内で行う思考・判断・表現力を要するグループ活動
③	主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてに対する毎時のふりかえり ・小テスト ・授業（ノート）、ワークの取り組み（A～C評価）

4 学習の手引き

使用教材	教科書	中学生の地理（帝国書院） 新しい社会・歴史（東京書籍） 中学校社会科地図（帝国書院）	もちもの	教科書・ノート・ワーク、iPad、のり 赤ペン、青ペン、その他指示のあったもの
	副教材	地理の学習1、歴史の学習1（浜島書店）		
学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席していること。 ・毎時の「めあて」を意識し学習活動にのぞむ。 ・授業の終わりには「めあて」に対する「ふりかえり」を行い、次につなげる。 ・授業の内容をしっかりと聴き、ノートやロイロノートに整理する。 ・地図やグラフなど資料を読み取る技術を身につけよう。 ・「いいトーク」、議論など授業での活動には意欲的に参加しよう。 ・单元ごとの課題は期限までに提出できるように計画的に取り組もう。 ・中間、期末テストで結果を出そう。 		
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアや本などで社会的事象に興味・関心を持とう。 ・まず教科書を読んで、自分なりに理解してみてください。 ・ワークやプリントなどの問題に取り組むとき、まず問題を読み、理解した上で解いていこう。 ・テストは日々の積み重ねが結果にあらわれます。 ・配られた問題プリント、テストは進路にむけて必ず保管しておこう。 ・時間は限られています。大切に使いましょう 		

【社会科】年間指導計画 第1学年

月	単元名	内容
4	【地理】 1部 世界と日本の地域構成 ①世界の姿	・世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察、表現させる。
5	②日本の姿 2部 世界のさまざまな地域 ①人々の生活と環境	・日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観させ、理解させる。
6	②世界の諸地域 ・アジア州	・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目させて多面的・多角的に考察、表現させる。
7	・ヨーロッパ州	・アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解させる。
9	・アフリカ州 ・北アメリカ州	・アジア州、ヨーロッパ州、アフリカ州、北アメリカ州、南アメリカ州、オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目させて、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。
10	・南アメリカ州 ・オセアニア州	
11	【歴史】 1章 歴史へのとびら ①歴史をとらえる見方・考え方 ②身近な地域の歴史 2章 古代までの日本 ①世界の古代文明と宗教の歴史 ②日本列島の誕生と大陸と交流	・年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解させる。 ・資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けさせる。 ・世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解させる。
12	③古代国家の歩みと東アジア世界	・律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解させる。
1	3章 中世の日本 ①武士の政権の成立	・武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、武家政治の成立とユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現させる。
2	②ユーラシアの動きと武士の政治の展開	
3		

2026年度 飯南中学校 第2学年 社会科のてびき

1 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる 平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の 基礎を次のとおり育成することを目指す。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト（知識・技能問題） ・授業内で行う白地図、資料読み取り課題
②	思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト（思考・判断・表現問題） ・節および章のまとめ（A～E評価） ・授業内で行う思考・判断・表現力を要するグループ活動
③	主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてに対する毎時のふりかえり ・小テスト ・授業（ノート）、ワークの取り組み（A～C評価）

4 学習の手引き

使用教材	教科書	中学生の地理（帝国書院） 新しい社会・歴史（東京書籍） 中学校社会科地図（帝国書院）	もちもの	教科書・ノート・ワーク、iPad、のり赤ペン、青ペン、その他指示のあったもの
	副教材	よくわかる社会の学習：地理2、歴史2・3（明治図書）		
学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席していること。 ・毎時の「めあて」を意識し学習活動にのぞむ。 ・授業の終わりには「めあて」に対する「ふりかえり」を行い、次につなげる。 ・授業の内容をしっかりと聴き、ノートやロイロノートに整理する。 ・地図やグラフなど資料を読み取る技術を身につけよう。 ・「いいトーク」、議論など授業での活動には意欲的に参加しよう。 ・單元ごとの課題は期限までに提出できるように計画的に取り組もう。 ・中間、期末テストで結果を出そう。 		
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアや本などで社会的事象に興味・関心を持とう。 ・まず教科書を読んで、自分なりに理解してみてください。 ・ワークやプリントなどの問題に取り組むとき、まず問題を読み、理解した上で解いていこう。 ・テストは日々の積み重ねが結果にあらわれます。 ・配られた問題プリント、テストは進路にむけて必ず保管しておこう。 ・時間は限られています。大切に使いましょう 		

【社会科】年間指導計画 第2学年

月	単元名	内容		
4	【地理】 第3部 日本のさまざまな地域 第1章 身近な地域の調査 第2章 日本の地域的特色 第3章 日本の諸地域 ①九州地方 ②中国・四国地方 ③近畿地方 ④中部地方 ⑤関東地方 ⑥東北地方 ⑦北海道地方	<ul style="list-style-type: none"> ・①自然環境, ②人口, ③資源・エネルギーと産業, ④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ, 日本の国土の特色を大観させ, 理解させる。 ・日本の地域的特色を, ①自然環境, ②人口, ③資源・エネルギーと産業, ④交通・通信に基づく地域区分などに着目させ, それらを関連付けて多面的・多角的に考察, 表現できる。 ・幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について, その地域的特色や地域の課題を理解できる。 ・日本の諸地域において, それぞれ①自然環境, ②人口や都市・村落, ③産業, ④交通や通信, ⑤その他の事象までで扱う中核となる事象の成立条件を, 地域の広がりや地域内の結び付き, 人々の対応などに着目させ, 他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察, 表現できる。 		
5				
6				
7				
9				
10				
11			【歴史】 第4章 近世の日本 ①ヨーロッパ人との出会いと全国統一 ②江戸幕府の成立と対外政策 ③産業の発展と幕府政治の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解することができる。 ・江戸幕府の政治の特色を考えさせ, その支配のもとに生まれた社会が, その後長く続いたことを理解することができる。 ・身近な事例を取り上げてその特色を考えることを通して, 産業や交通が著しく発達し, 町人文化や各地方の生活文化が形成されたことに気づくことができる。
12			第5章 日本の近代化 ①欧米における近代化の進展 ②欧米の進出と日本の開国	<ul style="list-style-type: none"> ・幕府の政治改革と政治のゆきづまりの原因について考えることができる。 ・欧米諸国が市民革命や産業革命によって近代社会を成立させて, アジアへ進出したことを理解することができる。
1			①明治維新 ②日清・日露戦争と近代産業	<ul style="list-style-type: none"> ・新政府の改革の特色を考え, 明治維新によって近代国家の基礎が整えられたことや, 人々の生活が大きく変化したことを理解することができる。 ・立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに, 日清・日露戦争, 条約改正などによって日本の国際的地位が向上したことを理解することができる。 ・日本で近代産業が発展し, 近代文化が形成された原因や, それによって都市や農村の生活にどのような変化が生じたのかを理解することができる。
2				
3				

2026年度 飯南中学校 第3学年 社会科のてびき

1 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる 平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の 基礎を次のとおり育成することを目指す。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト（知識・技能問題） ・授業内で行う白地図、資料読み取り課題
②	思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト（思考・判断・表現問題） ・節および章のまとめ（A～E評価） ・授業内で行う思考・判断・表現力を要するグループ活動
③	主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてに対する毎時のふりかえり ・小テスト ・授業（ノート）、ワークの取り組み（A～C評価）

4 学習の手引き

使用教材	教科書	新しい社会・歴史（東京書籍） 新しい社会・公民（東京書籍）	もちもの	教科書・ノート・ワーク、iPad、のり赤ペン、青ペン、その他指示のあったもの
	副教材	よくわかる社会の学習：歴史2・3（明治図書） 公民の学習（浜島書店）		
学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席していること。 ・毎時の「めあて」を意識し学習活動にのぞむ。 ・授業の終わりには「めあて」に対する「ふりかえり」を行い、次につなげる。 ・授業の内容をしっかりと聴き、ノートやロイロノートに整理する。 ・地図やグラフなど資料を読み取る技術を身につけよう。 ・「いいトーク」、議論など授業での活動には意欲的に参加しよう。 ・単元ごとの課題は期限までに提出できるように計画的に取り組もう。 ・中間、期末テストで結果を出そう。 		
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアや本などで社会的事象に興味・関心を持とう。 ・まず教科書を読んで、自分なりに理解してみてください。 ・ワークやプリントなどの問題に取り組むとき、まず問題を読み、理解した上で解いていこう。 ・テストは日々の積み重ねが結果にあらわれます。 ・配られた問題プリント、テストは進路にむけて必ず保管しておこう。 ・時間は限られています。大切に使いましょう 		

【社会科】年間指導計画 第3学年

月	単元名	内容
4	【歴史】 5編2章 二度の世界大戦と日本 ①第一次世界大戦と戦後の世界 ②大正デモクラシーの時代	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦にかかわる世界の動きと日本の関連や、大戦後の国際平和に向けてどのような努力がなされたのかを考えることができる。 ・軍部の台頭から第二次世界大戦までの経過と、第二次世界大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解することができる。 ・第二次世界大戦後の諸改革の特色を考え、世界の動きのなかで日本の民主化と再建、国際社会への復帰など新しい日本の建設が進められたことについて理解することができる。
5	③世界恐慌と中国との戦争 ④第二次世界大戦と日本	
6	6編 近代の日本と世界 ①平和と民主化への動き 6 ②国際化する世界と日本 5	
7	【公民】 持続可能な社会の実現に向けて（公民） 1章 現代社会と私たち ①現代社会の特色と私たち ②私たちの生活と文化 ③現代社会の見方と考え方	
9	2章 個人の尊重と日本国憲法 ①人権と日本国憲法 ②人権と共生社会 ③これからの人権保障	
10	3章 現代の民主政治と社会 ①現代の民主政治 ②国の政治の仕組み ③地方自治と私たち	
11	4章 私たちの暮らしと経済 ①消費生活と市場経済 ②生産と労働 ③市場経済の仕組みと金融 ④財政と国民の福祉 ⑤これからの経済と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解させる。 ・対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現させる。 ・人権思想の歴史など歴史的分野の学習内容を踏まえて、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解させる。 ・日本国憲法が大切にされてきた理由について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。 ・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解させる。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解させる。 ・市場経済の基本的な考え方について理解させる。その際、市場における価格の決め方や資源の配分について理解させる。 ・現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解させる。 ・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解させる。 ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解させる。 ・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。
12		
1		
2	5章 地球社会と私たち ①国際社会の仕組み ②さまざまな国際問題 ③これからの地球社会と日本	
3	終章 より良い社会を目指して	

2026年度 飯南中学校 第1学年 数学科のてびき

1 教科の目標

数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数理的に考察する能力を高める。
また、数学的活動の楽しさ、表現や考え方のよさを知り、それらを進んで活用しようとする態度を育てる。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	数量・図形などに関する基礎的な原理や法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト
②	思考・判断・表現	数量・図形などの関係や法則、性質を直観的に捉え、論理的に考察したり、数量の関係を見だし、その特徴やデータの傾向を読み取り、批判的に考察して判断したりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習にすすんで生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・ワークなどの提出物 ・プリントの振り返り

4 学習の手引き

使用 教材	教科書 未来へひろがる数学1 (啓林館) 副教材 数学の学習ノート1 ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	も ち も の	教科書、ノート1冊、ワーク、直定規、コンパス (分度器、三角定規)、ファイル
学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の学習内容をしっかりと振り返り、身につけておく。 ・板書だけでなく、ノートは板書だけでなく、気付いたことなど工夫して丁寧に書き、自分のノートを作っていく。 ・数学は、積み重ねの学問。分からないところは、そのままにせず、自分から進んで解決する努力をする。 ・答えを確認するのではなく、なぜその答えになるかをしっかりと考えていく。 		
学 習 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・答えを確認するのではなく、なぜその答えになるかをしっかりと考えていく。 ・自分の理解できていること、疑問点を確認し、問題の解決につなげていく。 ・教科書の問題、ワーク、授業で配られたプリントは必ず取り組む。 ・速く正確に問題が解けるように、何度も繰り返し解いていく。 ・生活の中で数学の見方や考え方、表現することがないかを探してみる。 		
家 庭			

【数学科】年間指導計画 第1学年

月	単元名	内容
4	1章 正の数・負の数	<ul style="list-style-type: none"> ・0より小さい数 ・正の数・負の数で量で表すこと ・絶対値と数の大小 ・正の数・負の数の加法, 減法 ・正の数・負の数の乗法, 除法 ・いろいろな計算 ・数の世界のひろがり ・正の数・負の数の利用
	1節 正の数・負の数	
	2節 正の数・負の数の計算	
5	3節 正の数・負の数の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・正の数・負の数の利用
	6	
7	2章 文字の式	<ul style="list-style-type: none"> ・数量を文字で表すこと ・文字式の表し方 ・式の値 ・文字式の加法, 減法 ・文字式と数の乗法, 除法 ・関係を表す式 ・文字式の利用
	1節 文字を使った式	
	2節 文字式の計算	
9	3節 文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・文字式の利用
	3章 方程式	
	1節 方程式	
10	2節 方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・方程式とその解 ・方程式の解き方 ・比と比例式 ・方程式の利用 ・比例式の利用
	4章 変化と対応	
	1節 関数	
11	2節 比例	<ul style="list-style-type: none"> ・関数 ・比例の式 ・座標 ・比例のグラフ ・反比例の式 ・反比例のグラフ ・比例, 反比例の利用
	3節 反比例	
	4節 比例反比例の利用	
12	5章 平面図形	<ul style="list-style-type: none"> ・直線と図形 ・図形の移動 ・基本の作図 ・図形の移動と基本の作図の利用 ・円とおうぎ形の性質 ・円とおうぎ形の計量
	1節 直線と図形	
	2節 移動と作図	
	3節 移動と作図の利用	
1	4節 円とおうぎ形	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな立体 ・空間内の平面と直線 ・立体の構成 ・立体の体積 ・立体の表面積 ・空間図形の利用
	6章 空間図形	
	1節 立体と空間図形	
2	2節 立体の体積と表面積	<ul style="list-style-type: none"> ・立体の体積 ・立体の表面積 ・空間図形の利用
	3節 空間図形の利用	
	7章 データの活用	
3	1節 ヒストグラムと相対度数	<ul style="list-style-type: none"> ・データを活用して問題を解決しよう ・整理されたデータから読みとろう ・相対度数と確率
	2節 データにもとづく確率	

2026年度 飯南中学校 第2学年 数学科のてびき

1 教科の目標

数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数理的に考察する能力を高める。
また、数学的活動の楽しさ、表現や考え方のよさを知り、それらを進んで活用しようとする態度を育てる。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	数量・図形などに関する基礎的な原理や法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト
②	思考・判断・表現	数量・図形などの関係や法則、性質を直観的に捉え、論理的に考察したり、数量の関係を見だし、その特徴やデータの傾向を読み取り、批判的に考察して判断したりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習にすすんで生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・ワークなどの提出物 ・プリントの振り返り

4 学習の手引き

使用 教材	教科書 未来へひろがる数学2 (啓林館) 副教材 数学の学習ノート2 ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もち もの	教科書、ノート1冊、ワーク、直定規、コンパス (分度器、三角定規)、ファイル
学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・1, 2年生の学習内容をしっかりと振り返り、身につけておく。 ・ノートは板書だけでなく、気付いたことなど工夫して丁寧に書き、自分のノートを作っていく。 ・数学は、積み重ねの学問。分からないところは、そのままにせず、自分から進んで解決する努力をする。 ・答えを確認するのではなく、なぜその答えになるかをしっかりと考えていく。 		
学 習 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・答えを確認するのではなく、なぜその答えになるかをしっかりと考えていく。 ・振り返りシートを活用し、主体的に学習に取り組む。 ・自分の理解できていること、疑問点を確認し、問題の解決につなげていく。 ・教科書の問題、ワーク、授業で配られたプリントは必ず取り組む。 ・速く正確に問題が解けるように、何度も繰り返し解いていく。 ・生活の中で数学の見方や考え方、表現することがないかを探してみる。 		
家 庭			

【数学科】年間指導計画 第2学年

月	単元名	内容
4	1章 式の計算 1節 式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ・式の加法, 減法 ・いろいろな多項式の計算 ・単項式の乗法, 除法
5	2節 文字式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・文字式の利用
6	2章 連立方程式 1節 連立方程式 2節 連立方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・連立方程式とその解 ・連立方程式の解き方 ・連立方程式の利用
7	3章 一次関数 1節 一次関数とグラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・一次関数 ・一次関数の値の変化 ・一次関数のグラフ ・一次関数の式を求めること
9	2節 一次関数と方程式 3節 一次関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・方程式とグラフ ・連立方程式とグラフ ・一次関数の利用
10	4章 図形の調べ方 1節 平行と合同 2節 図形の性質の利用 3節 証明	<ul style="list-style-type: none"> ・角と平行線 ・多角形の角 ・三角形の合同 ・図形の性質の利用 ・証明とそのしくみ ・証明の進め方
11	5章 図形の性質と証明	
12	1節 三角形 2節 四角形 3節 図形の性質と証明の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・二等辺三角形 ・直角三角形の合同 ・平行四辺形の性質 ・平行四辺形になるための条件 ・いろいろな四角形 ・平行線と面積 ・図形の性質を利用した証明
1	6章 場合の数と確率 1節 場合の数と確率	<ul style="list-style-type: none"> ・確率の求め方 ・いろいろな確率
2	2節 確率の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・確率の利用
3	7章 箱ひげ図とデータの活用 1節 箱ひげ図	<ul style="list-style-type: none"> ・箱ひげ図 ・データを活用して問題を解決しよう

2026年度 飯南中学校 第3学年 数学科のてびき

1 教科の目標

数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数理的に考察する能力を高める。
また、数学的活動の楽しさ、表現や考え方のよさを知り、それらを進んで活用しようとする態度を育てる。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	数量・図形などに関する基礎的な原理や法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	・定期テスト ・小テスト
②	思考・判断・表現	数量・図形などの関係や法則、性質を直観的に捉え、論理的に考察したり、数量の関係を見だし、その特徴やデータの傾向を読み取り、批判的に考察して判断したりすることができる。	・定期テスト ・小テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習にすすんで生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとする。	・授業の様子 ・ワークなどの提出物 ・プリントの振り返り

4 学習の手引き

使用 教材	教科書 未来へひろがる数学3 (啓林館) 副教材 数学の学習ノート3 ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	も ち も の	教科書、ノート1冊、ワーク、直定規、コンパス (分度器、三角定規)、ファイル
学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・1, 2年生の学習内容をしっかりと振り返り、身につけておく。 ・ノートは板書だけでなく、気付いたことなど工夫して丁寧に書き、自分のノートを作っていく。 ・数学は、積み重ねの学問。分からないところは、そのままにせず、自分から進んで解決する努力をする。 ・答えを確認するのではなく、なぜその答えになるかをしっかりと考えていく。 		
学 習 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・答えを確認するのではなく、なぜその答えになるかをしっかりと考えていく。 ・振り返りシートを活用し、主体的に学習に取り組む。 ・自分の理解できていること、疑問点を確認し、問題の解決につなげていく。 ・教科書の問題、ワーク、授業で配られたプリントは必ず取り組む。 ・速く正確に問題が解けるように、何度も繰り返し解いていく。 ・生活の中で数学の見方や考え方、表現することがないかを探してみる。 		
家 庭			

【数学科】年間指導計画 第3学年

月	単元名	内容
4	1章 式の展開と因数分解	<ul style="list-style-type: none"> ・式の乗法, 除法 ・乗法の公式 ・因数分解 ・式の計算の利用
5	1節 式の展開と因数分解 2節 式の計算の利用	
6	2章 平方根	<ul style="list-style-type: none"> ・平方根 ・平方根の値 ・有理数と無理数 ・真の値と近似値 ・根号をふくむ式の乗法, 除法 ・根号をふくむ式の計算 ・平方根の利用
	1節 平方根	
	2節 根号をふくむ式の計算 3節 平方根の利用	
7	3章 二次方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・二次方程式とその解き方 ・二次方程式の解の公式 ・二次方程式と因数分解 ・二次方程式の利用
	1節 二次方程式 2節 二次方程式の利用	
9	4章 関数	<ul style="list-style-type: none"> ・関数 ・関数のグラフ ・関数の値の増減と変域 ・関数の変化の割合 ・関数の利用 ・いろいろな関数の利用
	1節 関数とグラフ	
	2節 関数 の値の変化 3節 いろいろな事象と関数の利用	
10	5章 図形と相似	<ul style="list-style-type: none"> ・相似な図形 ・三角形の相似条件 ・三角形の相似条件と証明 ・平行線と線分の比 ・中点連結定理 ・相似な図形の面積 ・相似な立体の表面積・体積 ・相似の利用
	1節 図形と相似	
11	2節 平行線と線分の比	<ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理 ・平面における線分の長さや面積 ・空間における線分の長さや体積
	3節 相似な図形の計量	
	4節 相似の利用	
12	6章 円の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・円周角と中心角 ・円周角の定理の逆 ・円の性質の利用
	1節 円周角と中心角 2節 円の性質の利用	
1	7章 三平方の定理	<ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理 ・平面における線分の長さや面積 ・空間における線分の長さや体積
	1節 直角三角形の3辺の関係 2節 三平方の定理の利用	
2	8章 標本調査とデータの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・標本調査の方法 ・母集団と標本の関係 ・データを活用して問題を解決しよう
	1節 標本調査	

2026年度 飯南中学校 第1学年 理科のてびき

1 教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質、能力を次の通り育成することを目指す。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト(知識・理解) ・実験、観察時における技能 ・授業内での小テスト
②	思考・判断・表現	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト(思考・判断・表現) ・実験、観察時における考察 ・課題レポート
③	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の態度(粘り強く学ぶ姿勢、実験への取り組み) ・振り返り(課題に対して考え取り組んでいるか、疑問を見つけ調べる意欲が見られるか。)

4 学習の手引き

使用教材	教科書 未来へ広がるサイエンス 1 啓林館 副教材 よくわかる理科の学習1 明治図書	もちもの	教科書 ファイル iPad
学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題をしっかりとらえ、授業や実験に積極的に取り組もう。 ○わからないところは、先生に質問したり、友だちに聞いたりして、必ず克服しよう。 ○ノートやレポートは、自分の考えや学習結果などを丁寧にわかりやすく、自分の言葉で書こう。 ○自主勉強などを通して、家庭学習は毎日こつこつやっていこう。 ○授業や実験には、集中して積極的に取り組もう。 	
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○授業があった日は、教科書、ノートを中心に復習しよう。 ○ワークなどを利用して問題を解く練習をしながら、確実に知識を身につけていこう。 	

【理科】年間指導計画 第1学年

月	単元名	内容
4	序章 自然の中にあふれる生命	1 身のまわりの生物の観察 2 生物のなかま分けのしかた
5	いろいろな生物とその共通点 1章 植物の特徴と分類	1 花のつくり 2 子葉, 葉, 根のつくり 3 種子をつくらない植物 4 植物の分類
6	2章 動物の特徴と分類	1 動物の体のつくりと生活 2 背骨のある動物 3 背骨のない動物 4. 動物の分類
7	身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質	1 物質の区別 2 重さ・体積と物質の区別
9	2章 いろいろな気体とその性質 3章 水溶液の性質	1 気体の区別 2 身のまわりのものから発生した気体の区別 1 物質のとけ方 2 濃さの表し方 3 溶質のとり出し方
10	4章 物質のすがたとその変化	1 物質のすがたの変化 2 状態変化と温度 3 混合物の分け方
11	光・音・力による現象 1章 光による現象	1 光の進み方 2 光が通りぬけるときのようす 3 レンズのはたらき
12	2章 音による現象 3章 力による現象	1 音の伝わり方 2 音の大小と高低 1 力のはたらき 2 力の大きさのはかり方 3 重さと質量 4 力の表し方
1	1 活きている地球 1章 身近な大地	5 1つの物体に2つの力がはたらくとき 1 身近な大地の変化 2 地域の大地の観察
2	2章 ゆれる大地 3章 火をふく大地	1 ゆれの発生と伝わり方 2 ゆれの大きさ 3 日本列島の地震 1 火山の噴火 2 マグマの性質と火山 3 マグマからできた岩石
3	4章 語る大地	4 日本列島の火山 1 地層のでき方 2 地層の岩石 3 地層・化石と大地の歴史 4 大地の恵みと災害

2026年度 飯南中学校 第2学年 理科のてびき

1 教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質、能力を次の通り育成することを目指す。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト(知識・理解) ・実験、観察時における技能 ・授業内での小テスト
②	思考・判断・表現	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト(思考・判断・表現) ・実験、観察時における考察 ・課題レポート
③	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の態度(粘り強く学ぶ姿勢、実験への取り組み) ・振り返り(課題に対して考え取り組めているか、疑問を見つけ調べる意欲が見られるか。)

4 学習の手引き

使用教材	教科書 未来へ広がるサイエンス 2 啓林館 副教材 よくわかる理科の学習2 明治図書	もちもの	教科書 ファイル iPad
学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題をしっかりとらえ、授業や実験に積極的に取り組もう。 ○わからないところは、先生に質問したり、友だちに聞いたりして、必ず克服しよう。 ○ノートやレポートは、自分の考えや学習結果などを丁寧にわかりやすく、自分の言葉で書こう。 ○自主勉強などを通して、家庭学習は毎日こつこつやっていこう。 ○授業や実験には、集中して積極的に取り組もう。 	
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○授業があった日は、教科書、ノートを中心に復習しよう。 ○ワークなどを利用して問題を解く練習をしながら、確実に知識を身につけていこう。 	

【理科】年間指導計画 第2学年

月	単元名	内容
4	生物の体のつくりとはたらき 1章 生物の体をつくるもの	1 生物の体の成り立ち 2 細胞のつくり 3 細胞のはたらき
5	2章 植物の体のつくりとはたらき 3章 動物の体のつくりとはたらき	1 栄養分をつくる 2 植物の呼吸 3 水や栄養分を運ぶ 1 栄養分をとり入れる 2 動物の呼吸 3 不要な物質のゆくえ
6	4章 動物の行動のしくみ	4 物質を運ぶ 1 感じ取るしくみ 2 刺激を伝えたり反応したりするしくみ 3 運動のしくみ
7	化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち	1 物質を加熱したときの変化 2 水溶液に電流を流したときの変化 3 物質のもとになる粒子
9	2章 物質の表し方	4 原子が結びついてできる粒子 1 物質を表す記号 2 物質を表す式 3 化学変化を表す式
10	3章 さまざまな化学変化	1 物質どうしが結びつく変化 2 物質が酸素と結びつく変化 3 酸化物から酸素をとり除く変化 4 化学変化と熱の出入り
11	4章 化学変化と物質の質量	1 化学変化の前後での物質の質量 2 反応する物質どうしの質量の割合
	電流とその利用	
12	1章 電流の性質	1 電流が流れる道すじ 2 回路に流れる電流 3 回路に加わる電圧 4 電圧と電流の関係 5 電流, 電圧, 電気抵抗の求め方 6 電流のはたらきを表す量
1	2章 電流の正体	1 静電気 2 静電気と電流の関係 3 電流の正体 4 放射線の発見とその利用
	3章 電流と磁界	1 磁界 2 モーターのしくみ 3 発電機のしくみ
2	地球の大気と天気の変化 1章 地球をとり巻く大気のように	1 大気の中ではたらく力 2 大気のように観測する
	2章 空気中の水の変化	1 霧のでき方 2 雲のでき方 3 空気にふくまれる水蒸気の量
3	3章 天気の変化と大気の動き	1 風がふくしくみ 2 大気の動きによる天気の変化 3 地球規模での大気の動き
	4章 大気の動きと日本の四季	1 日本の季節による天気の特徴をもたらすもの 2 日本の四季の天気 3 天気の変化がもたらす恵みと災害

2026年度 飯南中学校 第3学年 理科のてびき

1 教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質、能力を次の通り育成することを目指す。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト(知識・理解) ・実験、観察時における技能 ・授業内での小テスト
②	思考・判断・表現	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト(思考・判断・表現) ・実験、観察時における考察 ・課題レポート
③	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の態度(粘り強く学ぶ姿勢、実験への取り組み) ・振り返り(課題に対して考え取り組んでいるか、疑問を見つけ調べる意欲が見られるか。)

4 学習の手引き

使用教材	教科書 未来へ広がるサイエンス 3 啓林館 副教材 よくわかる理科の学習3 明治図書 3年間の総整理問題集 正進社	もちもの	教科書 ファイル iPad
学校	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題をしっかりとらえ、授業や実験に積極的に取り組もう。 ○わからないところは、先生に質問したり、友だちに聞いたりして、必ず克服しよう。 ○ノートやレポートは、自分の考えや学習結果などを丁寧にわかりやすく、自分の言葉で書こう。 ○自主勉強などを通して、家庭学習は毎日こつこつやっといこう。 ○授業や実験には、集中して積極的に取り組もう。 		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○授業があった日は、教科書、ノートを中心に復習しよう。 ○ワークなどを利用して問題を解く練習をしながら、確実に知識を身につけていこう。 		

【理科】年間指導計画 第3学年

月	単元名	内容
4	生命の連続性 1章 生物のふえ方と成長	1 生物のふえ方 2 細胞のふえ方
5	2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化	1 親の特徴の伝わり方 2 遺伝のしくみ 3 遺伝子の本体 1 生物の共通性と多様性 2 進化の証拠 3 生物の移り変わりと進化
6	化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン	1 水溶液にすると電流が流れる物質 2 電解質の水溶液に電流が流れたときの変化 3 電気を帯びた粒子の正体
7	2章 電池とイオン 3章 酸・アルカリと塩	1 金属のイオンへのなりやすさ 2 電池のしくみ 3 日常生活と電池 1 酸性やアルカリ性の水溶液の性質 2 酸性やアルカリ性の性質を決めているもの 3 酸性・アルカリ性の強さ
9	4章 酸とアルカリを混ぜたときの変化 運動とエネルギー 1章 力の合成と分解	4 酸とアルカリを混ぜたときの変化 5 イオンで考える中和 1 水中の物体にはたらく力 2 力の合成 3 力の分解
10	2章 物体の運動	1 運動の表し方 2 水平面上での物体の運動 3 斜面上の物体の運動 4 物体間での力のおよぼし合い
11	3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り変わり	1 仕事 2 エネルギー 3 位置エネルギーと運動エネルギー 1 エネルギーの種類 2 エネルギーの変換と保存
12	5章 エネルギー資源とその利用 宇宙を観る 1章 宇宙の天体	1 生活を支えるエネルギー 2 エネルギー利用上の課題 3 エネルギーの有効利用 1 太陽 2 太陽系 3 宇宙の広がり
1	2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方	1 太陽の動き 2 星座の星の動き 1 月の動きと見え方 2 金星の動きと見え方
2	自然と人間 1章 自然界のつり合い 2章 さまざまな物質の利用と人間	1 生物どうしのつながり 2 生態系における生物の数量的関係 3 生物の遺骸のゆくえ 4 生物の活動を通じた物質の循環
3	3章 科学技術の発展 4章 人間と環境 5章 持続可能な社会をめざして	1 天然の物質と人工の物質 2 プラスチック 1 科学技術の発展の歴史 2 現在のくらしとこれからの科学技術 1 身近な自然環境の調査 2 自然が人間の生活におよぼす影響 3 人間の活動と自然環境 1 これからの社会を担う

2026年度 飯南中学校 第1学年 音楽科のてびき

1 教科の目標

<p>○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり、及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。(知識及び技能) 2. 音楽表現を創意工夫することや、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。(思考・判断・表現) 3. 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。(学びに向かう力、人間性等)
--

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	・曲想と音楽の構造などの関わり及び音楽の多様性について理解している ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・日常の活動 ・実技テスト ・定期テスト ・ワークの記述
②	思考・判断・表現	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・日常の活動 ・実技テスト ・定期テスト ・ワークの記述 ・鑑賞ワーク
③	主体的に学習に取り組む態度	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・授業中の活動状況 ・授業の準備状況 ・提出物 ・授業のまとめと振り返りの記述

4 学習の手引き

使用教材	教科書 中学生の音楽 1・中学生の器楽 合唱曲集 コーラスフェスティバル ワーク アルトリコーダー ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの	教科書(中学の音楽1・器楽) コーラスフェスティバル(合唱曲集) ファイル アルトリコーダー ワーク 筆記用具
	学 校 方 法		<p>○楽譜を理解するため知識や音楽用語について、しっかり学びましょう。 ・楽譜や音楽の記号・用語は音楽を共通理解するためのツールです。しっかり学習し音楽活動の基礎固めをしましょう。板書されたことや気付いたことなど、工夫してまとめましょう。</p> <p>○歌唱や楽器演奏などの活動に意欲的に取り組みましょう。 ・苦手意識や恥ずかしさで、実技活動に消極的では力を伸ばすチャンスを失ってしまいます。積極的に練習しましょう。</p> <p>○仲間と一緒に高め合いましょう。 ・他の人の歌唱や楽器演奏の良いところを取り入れたりして、お互いの音楽力を伸ばしていきましょう。</p> <p>○鑑賞においてはその曲の歴史的背景、文化、作曲者の意図をくみ取り聴きましょう。</p> <p>○ワークは授業を受けたところを取り組み、丸つけまでしておきましょう。</p> <p>○提出物の期限は必ず守りましょう。</p> <p>○準備物を整え、授業開始までに席につきましょう。</p>
家 庭	<p>○基礎知識の復讐をして理解を定着させましょう。</p> <p>○授業内で終わらなかった課題や、自分のパートの音取りなどは家庭学習で進めてくるようにしましょう。</p> <p>○家庭や学校外でも様々な音楽に触れる機会を持ちましょう。</p>		

【音楽科】年間指導計画 第1学年

月	単元名	内容
4	オリエンテーション 校歌 Well Find The Way～はるかな道へ	歌唱
5	音楽の約束 校歌テスト Lesson1『喜びの歌』 『春』	楽典 歌唱テスト アルトリコーダー 鑑賞
6	主人は冷たい土の中に 『魔王』 音楽の約束 Lesson1『かつこう』 アーティキュレーション	歌唱 鑑賞 楽典 アルトリコーダー
7	浜辺の歌 『かつこう』 合唱祭の取り組み	歌唱 アルトリコーダーテスト 合唱
9	合唱祭合唱曲	
10	合唱祭の合唱曲	
11	合唱祭の反省 『聖者の行進』アーティキュレーション 雅楽「平調 越天楽」	アルトリコーダー 鑑賞
12	～式歌への取り組み～ 赤とんぼ 歌唱テスト リコーダーテスト	歌唱 歌唱テスト リコーダーテスト
1	旅立ちの日に 卒業式合唱曲 式歌「旅立ちの日に」 卒業式合唱曲	合唱 合唱 合唱 合唱
2	器楽 箏	箏
3	『六段の調べ』 1年間の復讐	鑑賞

2026年度 飯南中学校 第2学年 音楽科のてびき

1 教科の目標

<p>○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>1. 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり、及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。(知識及び技能)</p> <p>2. 音楽表現を創意工夫することや、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。(思考・判断・表現)</p> <p>3. 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。(学びに向かう力、人間性等)</p>

2 評価の観点と内容 3 評価方法

観点	内容	評価の対象となるもの
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の活動 ・実技テスト ・定期テスト ・ワークの記述
② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の活動 ・実技テスト ・定期テスト ・ワークの記述 ・鑑賞ワーク
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の活動状況 ・授業の準備状況 ・提出物 ・授業のまとめと振り返りの記述

4 学習の手引き

使用教材	教科書 中学生の音楽 2.3上・中学生の器楽 合唱曲集 コーラスフェスティバル ワーク アルトリコーダー ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの	教科書 コーラスフェスティバル(合唱曲集) ファイル アルトリコーダー ワーク 筆記用具
学校学習方法	○楽譜を理解するため知識や音楽用語について、しっかり学びましょう。 ・楽譜や音楽の記号・用語は音楽を共通理解するためのツールです。しっかり学習し音楽活動の基礎固めをしましょう。板書されたことや気付いたことなど、工夫してまとめましょう。 ○歌唱や楽器演奏などの活動に意欲的に取り組みましょう。 ・苦手意識や恥ずかしさで、実技活動に消極的では力を伸ばすチャンスを失ってしまいます。積極的に練習しましょう。 ○仲間と一緒に高め合いましょう。 ・他の人の歌唱や楽器演奏の良いところを取り入れたりして、お互いの音楽力を伸ばしていきましょう。 ○鑑賞においてはその曲の歴史的背景、文化、作曲者の意図をくみ取り聴きましょう。 ○ワークは授業を受けたところを取り組み、丸つけまでしておきましょう。 ○提出物の期限は必ず守りましょう。 ○準備物を整え、授業開始までに席につきましょう。		
家庭	○基礎知識の復讐をして理解を定着させましょう。 ○授業内で終わらなかった課題や、自分のパートの音取りなどは家庭学習で進めてくるようにしましょう。 ○家庭や学校外でも様々な音楽に触れる機会を持ちましょう。		

【音楽科】年間指導計画 第2学年

月	単元名	内容
4	オリエンテーション 校歌 翼をください	歌唱 歌唱
5	夏の思い出 Lesson2 フーガ ト短調	歌唱 アルトリコーダー 鑑賞
6	Lesson2 夏の思い出 歌唱テスト 交響曲第5番	アルトリコーダー 歌唱 鑑賞
7	「カノン2」リコーダーテスト ～合唱祭に向けて～ 合唱祭の合唱曲	アルトリコーダー 合唱
9	合唱祭の取り組み 「合唱祭の合唱曲」	
10	「合唱祭の合唱曲」	
11	合唱祭の反省 荒城の月 オーラリー 歌唱テスト	合唱 歌唱 アルトリコーダー 歌唱テスト
12	リコーダーテスト オペラ「アイーダ」 ～式歌への取り組み～	リコーダーテスト 鑑賞 合唱
1	旅立ちの日に 卒業式合唱曲 式歌	合唱
2	卒業式合唱曲 式歌「旅立ちの日に」 卒業式合唱曲	合唱 合唱 合唱
3	歌舞伎「勸進帳」 1年間の復習	鑑賞

2026年度 飯南中学校 第3学年 音楽科のてびき

1 教科の目標

<p>○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>1. 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり、及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。(知識及び技能)</p> <p>2. 音楽表現を創意工夫することや、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。(思考・判断・表現)</p> <p>3. 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。(学びに向かう力、人間性等)</p>

2 評価の観点と内容 3 評価方法

観点	内容	評価の対象となるもの
① 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の活動 ・実技テスト ・定期テスト ・ワークの記述
② 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の活動 ・実技テスト ・定期テスト ・ワークの記述 ・鑑賞ワーク
③ 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の活動状況 ・授業の準備状況 ・提出物 ・授業のまとめと振り返りの記述

4 学習の手引き

使用教材	教科書 中学生の音楽 2.3下・中学生の器楽 合唱曲集 マイソング ワーク アルトリコーダー ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの	教科書 マイソング(合唱曲集) ファイル アルトリコーダー ワーク 筆記用具
学習方法	○楽譜を理解するため知識や音楽用語について、しっかり学びましょう。 ・楽譜や音楽の記号・用語は音楽を共通理解するためのツールです。しっかり学習し音楽活動の基礎固めをしましょう。板書されたことや気付いたことなど、工夫してまとめましょう。 ○歌唱や楽器演奏などの活動に意欲的に取り組みましょう。 ・苦手意識や恥ずかしさで、実技活動に消極的では力を伸ばすチャンスを失ってしまいます。積極的に練習しましょう。 ○仲間と一緒に高め合いましょう。 ・他の人の歌唱や楽器演奏の良いところを取り入れたりして、お互いの音楽力を伸ばしていきましょう。 ○鑑賞においてはその曲の歴史的背景、文化、作曲者の意図をくみ取り聴きましょう。 ○ワークは授業を受けたところを取り組み、丸つけまでしておきましょう。 ○提出物の期限は必ず守りましょう。 ○準備物を整え、授業開始までに席につきましょう。		
家庭	○基礎知識の復讐をして理解を定着させましょう。 ○授業内で終わらなかった課題や、自分のパートの音取りなどは家庭学習で進めてくるようにしましょう。 ○家庭や学校外でも様々な音楽に触れる機会を持ちましょう。		

【音楽科】年間指導計画 第3学年

月	単元名	内容
4	オリエンテーション 校歌 花	歌唱 歌唱
5	花 歌唱テスト 帰れソレントへ アニーローリー 『ブルタバ(モルダウ)』	歌唱テスト 歌唱 アルトリコーダー 鑑賞
6	ふるさと 『ボレロ』 アニーローリー	合唱 鑑賞 アルトリコーダー
7	リコーダーテスト ～学校祭に向けて～ 学校祭合唱曲の選曲	リコーダーテスト
9	学校祭の取り組み 組曲『展覧会の絵』から	合唱 鑑賞
10	学校祭の合唱曲	合唱
11	学校祭の合唱曲の反省 尺八楽『巢鶴鈴慕』	鑑賞
12	式歌 卒業式合唱曲	合唱 合唱
1	式歌 卒業式合唱	合唱 合唱
2	式歌 卒業式合唱	合唱 合唱
3		

2026年度 飯南中学校 第1学年 美術科のてびき

1 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	課題作品 ・プリント ・定期テスト
②	思考・判断・表現	自然の造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・アイデアスケッチ ・課題作品 ・プリント ・定期テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。	・制作姿勢 ・提出物の状況 ・定期テスト ・振り返り

4 学習の手引き

学 習 方 法	学 校	<p>教科書 美術1 副教材 レタリング字典 感じる表す美術</p> <p>ICT機器 ※学校で1人1台用意します。</p>	も ち も の	<p>教科書 副教材 スケッチブック その他、制作に必要なもの (教材に応じて授業等で連絡します)</p>
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・準備(用具、作品に必要な材料集め、課題等)をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・表現したいことを明確にし、創意工夫して表現しよう。 ・実習時は安全に注意し、しっかり集中して制作に取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・制作にしっかり集中して取り組み、丁寧な作品作りを心がけよう。 		

【美術科】年間指導計画 第1学年

月	単元名	内容
4	オリエンテーション	美術との出会い(人に伝える美術)
5	見つめると見えてくるもの	「スケッチ」 ・鉛筆の使い方 ・明暗を表す
6	○文字の基本 ○色彩の仕組み	・書体 ・レタリング ・明度、彩度、色相
7	○文字が生み出すイメージ	「絵文字制作」 ・アイデアスケッチ
9		・着彩 ・作品鑑賞
10	○鑑賞との出会い	・近代の絵画作品 ・作品を取り巻く背景 ・自分の中の感性と名画の鑑賞
11	前期末テスト	
12	○立体を見る、描く	「デッサン」 ・スケッチとの違い ・見ることの大切さ
1	○そのものらしさを形にして	「立体造形」 ・アイデアスケッチ ・制作
	学年末テスト	・作品鑑賞
2	デザイン工芸領域	つなげて広がる模様の世界
3		

2026年度 飯南中学校 第2学年 美術科のてびき

1 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	課題作品 ・プリント ・定期テスト
②	思考・判断・表現	自然の造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・アイデアスケッチ ・課題作品 ・プリント ・定期テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。	・制作姿勢 ・提出物の状況 ・定期テスト ・振り返り

4 学習の手引き

使用教材	教科書 美術2・3上 副教材 レタリング字典 感じる表す美術 図案資料集 ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの	教科書 副教材 スケッチブック その他、制作に必要なもの (教材に応じて授業等で連絡します)
	学 校		<ul style="list-style-type: none"> ・準備(用具、作品に必要な材料集め、課題等)をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・表現したいことを明確にし、創意工夫して表現しよう。 ・実習時は安全に注意し、しっかり集中して制作に取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・制作にしっかり集中して取り組み、丁寧な作品作りを心がけよう。
学 習 方 法	家 庭		<ul style="list-style-type: none"> ・作品制作に関しての準備や予習をしよう。 ・定期テストに向けてしっかり学習しよう。

【美術科】年間指導計画 第2学年

月	単元名	内容
4	オリエンテーション	美術との出会い(人に伝える美術)
5	○多様な表現から、見方や考え方を深める	・作品鑑賞
	○自由な視点で風景を見つめる	・作品鑑賞
6		「遠近法」 ・一点透視図法 ・二点透視図法
7		「立体感のある平面構成」 ・アイデアスケッチ
9	前期末テスト	・着彩 ・作品鑑賞
10	○ひとめずつたわるみんなのデザイン	・作品鑑賞
	○使う人の立場で考える	・作品鑑賞
11	○デザインのできること	・作品鑑賞
12		「パッケージデザイン」 ・アイデアスケッチ ・作品制作 ・作品鑑賞
1	○イメージを形にすると	・作品鑑賞 ・モダンテクニック ・作品制作
2	学年末テスト	・鑑賞
3		

2026年度 飯南中学校 第3学年 美術科のてびき

1 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	課題作品 ・プリント ・定期テスト
②	思考・判断・表現	自然の造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・アイデアスケッチ ・課題作品 ・プリント ・定期テスト
③	主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。	・制作姿勢 ・提出物の状況 ・定期テスト ・振り返り

4 学習の手引き

使用教材	教科書 美術2・3下 副教材 レタリング字典 感じる表す美術 図案資料集 ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの	教科書 副教材 スケッチブック その他、制作に必要なもの (教材に応じて授業等で連絡します)
学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・準備(用具、作品に必要な材料集め、課題等)をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・表現したいことを明確にし、創意工夫して表現しよう。 ・実習時は安全に注意し、しっかり集中して制作に取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・制作にしっかり集中して取り組み、丁寧な作品作りを心がけよう。 		
学 習 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・作品制作に関しての準備や予習をしよう。 ・定期テストに向けてしっかり学習しよう。 		
家 庭			

【美術科】年間指導計画 第3学年

月	単元名	内容
4	オリエンテーション	美術との出会い(人に伝える美術)
5	○わたし自身を見つめて	・作品鑑賞 ・「学校ポスター」 ・アイデアスケッチ ・制作
6		・着彩 ・作品鑑賞
7	○ルネサンスが目指したもの	・作品鑑賞
9	前期末テスト	
10		・人物スケッチ ・「15歳のわたし」 ・アイデアスケッチ ・制作 ・作品鑑賞
11	後期中間テスト	
12	○あなたのイメージを探そう	・作品鑑賞 ・「立体造形」 ・アイデアスケッチ ・制作 ・作品鑑賞
1		
2		
3		

2026年度 飯南中学校 第1学年 保健体育科のてびき

1 教科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	運動の合理的な、実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	【実技テスト】各単元の技術がどこまで到達しているか。 【定期テスト】各単元の知識がどこまで到達しているか。
②	思考・判断・表現	運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	【定期テスト】各単元の知識がどこまで到達しているか。 【振り返り+課題】授業内で提示された課題に対して自分の考えや調べたことや、次に向けての自分の目標が書いているか。 【単元レポート】内容が的を得てしっかり書かれているか。 【定期テスト】各単元の思考・判断・表現がどこまで到達しているか。
③	主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。	【授業態度】話を聴く態度がとれているか。積極性があるか。自ら楽しめているか。協調性があるか。安全面に配慮できているか。 【保健ワーク・ノート】しっかり解答し、提出日までに提出されているか。 【振り返り】毎日の振り返りが提出日までに提出されているか。

4 学習の手引き

使用教材	教科書 中学保健体育(学研) 副教材 ワンダフルスポーツ(新学社) 中学保体資料ノート iPad	もの	教科書・保体資料ノート ワンダフルスポーツ・筆記用具 体育館シューズ
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ○自分やグループの目標や課題を持って授業に取り組もう。 ○個人の記録や課題、感想をワークシートや振り返りカードに記録していこう。 ○最初からできないと決めつけず、いろいろなことに積極的に挑戦しよう。 ○チームや仲間同士で協力したり、教えあうことを大切にしよう。 ○ルールや試合方法について理解し、積極的に取り組もう。 ○どうすれば体力や技術が向上するかを考えながら練習やゲームに取り組もう。 ○先生の話や仲間からのアドバイスをしっかり聞いて理解しよう。 ○資料や知識を基にして意欲的な態度でいろいろな問題や課題に取り組もう 		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○日々の生活中、保健で学んだことを実践してみよう。 ○運動習慣について考え実践しよう。 ○保健のワークをしよう。 		

【保健体育科】年間指導計画 第1学年

月	単元名	内容
4	○集団行動 ○体づくり運動	・ラジオ体操・集団行動
5	○新体カテスト・体育理論	
6	○陸上競技(短距離走・リレー)(スポーツフェスティバルの練習含む) ○球技(バレーボール)	・スポーツフェスティバル練習 ・基本的な技術 (アンダー・オーバーハンドパス・サーブなど)
7	★スポーツの多様性 ★健康な生活と病気の予防①	※「健康な生活と病気の予防」は3年間にわたって学習します。
9	○球技 (ソフトボール) ○器械運動(マット運動)	・開脚系・伸膝系・倒立系の技を行う。
10	○武道(剣道)	・剣道の用語・動きなど
11	○球技(サッカー)	・基本的なパス・移動
12	○球技(バスケットボール) ○陸上競技(長距離走)	・基本的なパス・シュート ・持久走
1	○ダンス ダンス発表会 ★心身の発達と心の健康	・5時限程度の全体でのダンス ・発表に向けてダンス
2	○球技(バドミントン) ○球技 (卓球)	・基本的な動き
3		

※○が体育、★が保健

2026年度 飯南中学校 第2学年 保健体育科のてびき

1 教科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

観点	内容	評価の対象となるもの
① 知識・技能	運動の合理的な、実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	【実技テスト】各単元の技術がどこまで到達しているか。 【定期テスト】各単元の知識がどこまで到達しているか。
② 思考・判断・表現	運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	【定期テスト】各単元の知識がどこまで到達しているか。 【振り返り+課題】授業内で提示された課題に対して自分の考えや調べたことや、次に向けての自分の目標が書いているか。 【単元レポート】内容が的を得てしっかり書かれているか。 【定期テスト】各単元の思考・判断・表現がどこまで到達しているか。
③ 主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。	【授業態度】話を聴く態度がとれているか。積極性があるか。自ら楽しめているか。協調性があるか。安全面に配慮できているか。 【保健ワーク・ノート】しっかり解答し、提出日までに出されているか。 【振り返り】毎日の振り返りが提出日までに出されているか。

4 学習の手引き

使用教材	教科書 中学保健体育(学研) 副教材 ワンダフルスポーツ(新学社) 中学保体資料ノート iPad	もちもの	教科書・保体資料ノート ワンダフルスポーツ・筆記用具 体育館シューズ
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ○自分やグループの目標や課題を持って授業に取り組もう。 ○個人の記録や課題、感想をワークシートや振り返りカードに記録していこう。 ○最初からできないと決めつけず、いろいろなことに積極的に挑戦しよう。 ○チームや仲間同士で協力したり、教えあうことを大切にしよう。 ○ルールや試合方法について理解し、積極的に取り組もう。 ○どうすれば体力や技術が向上するかを考えながら練習やゲームに取り組もう。 ○先生の話や仲間からのアドバイスをしっかり聞いて理解しよう。 ○資料や知識を基にして意欲的な態度でいろいろな問題や課題に取り組もう 		<ul style="list-style-type: none"> ○日々の生活中、保健で学んだことを実践してみよう。 ○運動習慣について考え実践しよう。 ○保健のワークをしよう。

【保健体育科】年間指導計画 第2学年

月	単元名	内容
4	○集団行動 ○体づくり運動	・ラジオ体操・集団行動
5	○新体力テスト・体育理論	
6	○陸上競技(短距離走・リレー)(スポーツフェスティバルの練習含む) ○ネット型(バレーボール)	・スポーツフェスティバル練習 ・基本的な技術 (アンダー・オーバーハンドパス・サーブなど)
7	★スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	※「健康な生活と病気の予防」は3年間にわたって学習します
9	★健康な生活と病気の予防② ○ベースボール型(ソフトボール) ○器械運動(マット運動)	・基本的な動作 ミニゲーム ・開脚系・伸膝系・倒立系発展技をする。
10	○武道(剣道)	・剣道の動きなど
11	○ゴール型(サッカー) ○ゴール型(バスケットボール) ○陸上競技(長距離走)	・基本的なパス・シュート(仲間との連携) ・基本的なパス・シュート(仲間との連携) ・持久走
12		
1	○ダンス ダンス発表会 ★傷害の防止	・5時限程度の全体でのダンス ・発表に向けてダンス
2		・ゲーム
3	○ネット型(バドミントン) ○ネット型(卓球)	・ゲーム(基本的な技)

※○が体育、★が保健

2026年度 飯南中学校 第3学年 保健体育科のてびき

1 教科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	運動の合理的な、実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	【実技テスト】各単元の技術がどこまで到達しているか。 【定期テスト】各単元の知識がどこまで到達しているか。
②	思考・判断・表現	運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	【定期テスト】各単元の知識がどこまで到達しているか。 【振り返り+課題】授業内で提示された課題に対して自分の考えや調べたことや、次に向けての自分の目標が書いているか。 【単元レポート】内容が的を得てしっかり書かれているか。 【定期テスト】各単元の思考・判断・表現がどこまで到達しているか。
③	主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。	【授業態度】話を聴く態度がとれているか。積極性があるか。自ら楽しめているか。協調性があるか。安全面に配慮できているか。 【保健ワーク・ノート】しっかり解答し、提出日までに出されているか。 【振り返り】毎日の振り返りが提出日までに出されているか。

4 学習の手引き

使用教材	教科書 中学保健体育(学研) 副教材 ワンダフルスポーツ(新学社) 中学保体資料ノート iPad	もちもの	教科書・保体資料ノート ワンダフルスポーツ・筆記用具 体育館シューズ
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ○自分やグループの目標や課題を持って授業に取り組もう。 ○個人の記録や課題、感想をワークシートや振り返りカードに記録していこう。 ○最初からできないと決めつけず、いろいろなことに積極的に挑戦しよう。 ○チームや仲間同士で協力したり、教えあうことを大切にしよう。 ○ルールや試合方法について理解し、積極的に取り組もう。 ○どうすれば体力や技術が向上するかを考えながら練習やゲームに取り組もう。 ○先生の話や仲間からのアドバイスをしっかり聞いて理解しよう。 ○資料や知識を基にして意欲的な態度でいろいろな問題や課題に取り組もう 		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○日々の生活中、保健で学んだことを実践してみよう。 ○運動習慣について考え実践しよう。 ○保健のワークをしよう。 		

【保健体育科】年間指導計画 第3学年

月	単元名	内容
4	○集団行動 ○体づくり運動	・ラジオ体操・集団行動
5	○新体カテスト・体育理論	
6	○陸上競技(短距離走・リレー)(スポーツフェスティバルの練習含む) ○ネット型(バレーボール)	・スポーツフェスティバル練習 ・ゲーム
7	★文化としてのスポーツ ★健康な生活と病気の予防③	※「健康な生活と病気の予防」は3年間にわたって学習します。
9	○ベースボール型(ソフトボール) ○器械運動(マット運動)	・開脚系・伸膝系・倒立系発展技をする。
10	○武道(剣道)	・剣道の動きなど
11	○ゴール型(サッカー) ○ゴール型(バスケットボール)	・基本的なパス・シュート(仲間との連携)ゲーム ・基本的なパス・シュート(仲間との連携)ゲーム
12	○陸上競技(長距離走)	・持久走
1	★健康と環境 ○ダンス ダンス発表会	・発表に向けてダンス
2	○ネット型(バドミントン) ○ネット型(卓球)	・ゲーム ・ゲーム(基本的な技)
3		

※○が体育、★が保健

2026年度 飯南中学校 第1学年 技術科のてびき

1 教科の目標

作品の製作などの体験的な活動を通して、材料と加工、情報に関する基礎的・基本的な知識や技術を習得する。技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深める。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	生活や社会で利用されている材料, 加工, 生物育成, エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに, それらに係る技能を身に付け, 技能と生活や社会, 環境との関わりについて理解を深めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・章末テスト ・授業の様子 ・提出物
②	思考・判断・表現	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し, 解決策を構想し, 製作図等に表現し, 試作等を通じて具体化し, 実践を評価・改善するなど, 課題を解決する力を養うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・章末テスト ・授業の様子 ・提出物
③	主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて, 適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養おうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・提出物への取り組み ・単元のふりかえり

4 学習の手引き

	使用教材	もちもの	教科書、副教材 プリント、ファイル
	教科書 新しい技術・家庭《技術分野》(東京書籍) 副教材 技術・家庭ハンドノート(正進社) 木材加工材料		
学 校	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題をしっかりとらえ、前向きにとりくみましょう。 ○わからないところ、できないところを明確にして、学習・製作をしましょう。 ○何事にもじっくり考えて、自分にできる精一杯の工夫をしましょう。 ○できるようになったこと、自分の成長したことに自信を持ちましょう。 ○作品づくりにおいては、ていねいに製作に取り組みましょう。 		
学 習 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ○授業中に学習したことをしっかり復習しておきましょう。 ○家庭での仕事を手伝うこと。 特に夏休み等の長期の休みに、家族の一員としていろいろな家庭での仕事を手伝うこと。 		
	家 庭		

【技術科】年間指導計画 第1学年

月	単元名	内容
4	1 生活や社会を支える材料と加工の技術	◎生活や社会における技術の役割 ◎材料と加工に関する技術 ○ものづくりの視点と進め方 ○材料
5		
6	2 材料と加工の技術による問題解決	○設計 ○木材による製作 ○金属・プラスチックによる製作 ○材料と加工に関する技術の評価・活用 ○製作・実習
7		
9		
	期末テスト	
10	3 社会の発展と材料と加工の技術	学習のまとめ
11	1 生活や社会を支える材料と情報の技術	◎情報に関する技術 ○情報と私たちの生活 ○情報通信ネットワークの利用 ○情報通信ネットワークとセキュリティ ○情報モラルと知的財産
12		
1	情報モラル	○実習
2	学年末テスト	
3		

2026年度 飯南中学校 第2学年 技術科のてびき

1 教科の目標

作品の製作などの体験的な活動を通して、エネルギー変換、情報に関する基礎的基本的な知識や技術を習得する。技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深める。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技能と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・章末テスト ・授業の様子 ・提出物
②	思考・判断・表現	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・章末テスト ・授業の様子 ・提出物
③	主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養おうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・提出物への取り組み ・単元のふりかえり

4 学習の手引き

使用教材	教科書 新しい技術・家庭《技術分野》(東京書籍) 副教材 技術・家庭ハンドノート(正進社) LEDライト	もちもの	教科書、副教材 プリント、ファイル
学 校	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題をしっかりとらえ、前向きにとりくみましょう。 ○わからないところ、できないところを明確にして、学習・製作をしましょう。 ○何事にもじっくり考えて、自分にできる精一杯の工夫をしましょう。 ○できるようになったこと。自分の成長したことに自信を持ちましょう。 ○作品づくりにおいては、ていねいに製作に取り組みましょう。 		
学 習 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ○授業中に学習したことをしっかり復習しておきましょう。 ○家庭での仕事を手伝うこと。 特に夏休み等の長期の休みに、家族の一員としていろいろな家庭での仕事を手伝うこと。 		
家 庭			

【技術科】年間指導計画 第2学年

月	単元名	内容
4	1 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術	◎エネルギー変換に関する技術 ○わたしたちの生活とエネルギー変換 ○電気エネルギーの利用 ○動力の利用 ○エネルギー変換の実際
5		
6	2 エネルギー変換の技術による問題解決	○製作品の構想と設計・製作 ○エネルギー変換に関する技術の評価・活用
7		
9	期末テスト	○製作・実習
10	3 社会の発展と材料とエネルギー変換の技術	学習のまとめ
11	1 生活や社会を支える材料と情報の技術	◎情報に関する技術 ○情報通信ネットワークの利用 ○情報通信ネットワークとセキュリティ ○情報モラルと知的財産 ○コンピュータと情報処理 ○アプリケーションソフトウェアの活用 ○デジタル作品(プレゼン作品)の設計と制作
12		
1	2 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	○プログラミングの基礎 ○実習
2	学年末テスト	
3		

2026年度 飯南中学校 第3学年 技術科のてびき

1 教科の目標

作品の製作などの体験的な活動を通して、生物育成、情報に関する基礎的・基本的な知識や技術を習得する。技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深める。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	生活や社会で利用されている材料, 加工, 生物育成, エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに, それらに係る技能を身に付け, 技能と生活や社会, 環境との関わりについて理解を深めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・章末テスト ・授業の様子 ・提出物
②	思考・判断・表現	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し, 解決策を構想し, 製作図等に表現し, 試作等を通じて具体化し, 実践を評価・改善するなど, 課題を解決する力を養うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・章末テスト ・授業の様子 ・提出物
③	主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて, 適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養おうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・提出物への取り組み ・単元のふりかえり

4 学習の手引き

	使用教材		もちもの
	教科書 新しい技術・家庭《技術分野》(東京書籍) 副教材 技術・家庭ハンドノート(正進社) ミニトマト栽培セット		教科書、副教材 プリント、ファイル
学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題をしっかりとらえ、前向きにとりくみましょう。 ○わからないところ、できないところを明確にして、学習・製作をしましょう。 ○何事にもじっくり考えて、自分にできる精一杯の工夫をしましょう。 ○できるようになったこと。自分の成長したことに自信を持ちましょう。 ○作品づくりにおいては、ていねいに製作に取り組みましょう。 	
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ○授業中に学習したことをしっかり復習しておきましょう。 ○家庭での仕事を手伝うこと。 特に夏休み等の長期の休みに、家族の一員としていろいろな家庭での仕事を手伝うこと。 	

【技術科】年間指導計画 第3学年

月	単元名	内容
4	1 生物育成の技術の原理・法則と仕組み	◎生物育成に関する技術
5		○わたしたちの生活と生物育成 ○実習
6		○生物の育成 ○作物の栽培 ○動物の飼育
6	2 生物育成の技術による問題解決	○水生生物の栽培
7		○生物育成に関する技術の評価・活用
9	期末テスト	
10	2 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	◎情報に関する技術
11		○プログラミングの基礎 ○オリジナルWebサイトの制作 ○実習
12	後期中間テスト	
1	3 計測制御のプログラミングによる問題解決	○プログラムによる計測・制御
2		○情報に関する技術の評価・活用
3		

2026年度 飯南中学校 第1学年 家庭科のてびき

1 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	実習・作品。定期テスト。
②	思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	②実習・作品。ワーク。定期テスト。
③	主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	③実習・作品。授業の準備物。提出物。授業態度。

4 学習の手引き

使用教材	教科書 新しい技術・家庭 家庭分野 副教材 ワーク ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの	教科書 ワーク その他、実習に必要なもの (教材に応じて授業等で連絡します)		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学 校</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・準備(教科書、ワーク、課題等)をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・先生の説明を集中して聞き、しっかりと授業に取り組もう。 ・実習時は安全に注意し、集中して取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・提出物の期限は必ず守ろう。 </td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学 習 方 法</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・定期テストに備えて、普段からしっかり復習をしておこう。 ・ワークは授業を受けたところまでを取り組み、丸つけまでしよう。 </td> </tr> </table>		学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・準備(教科書、ワーク、課題等)をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・先生の説明を集中して聞き、しっかりと授業に取り組もう。 ・実習時は安全に注意し、集中して取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・提出物の期限は必ず守ろう。 	学 習 方 法
学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・準備(教科書、ワーク、課題等)をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・先生の説明を集中して聞き、しっかりと授業に取り組もう。 ・実習時は安全に注意し、集中して取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・提出物の期限は必ず守ろう。 				
学 習 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストに備えて、普段からしっかり復習をしておこう。 ・ワークは授業を受けたところまでを取り組み、丸つけまでしよう。 				

【家庭科】年間指導計画 第1学年

月	単元名	内容
4	食事の役割と中学生の栄養の特徴	・食事の役割
5		・私たちの食生活
6	中学生に必要な栄養を満たす食事	・食品に含まれる栄養素
7		・6つの食品群
9	食品の選択と購入	・バランスの良い献立作り
10	前期末テスト	・生鮮食品の特徴
11	日常食の調理と地域の食文化	・加工食品の特徴
12		・食品の保存と食中毒の防止
1		・食品(野菜・肉・魚)の特徴
2		・日本の食文化
3	学年末テスト	・持続可能な食生活

2026年度 飯南中学校 第2学年 家庭科のてびき

1 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	実習・作品。定期テスト。
②	思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	②実習・作品。ワーク。定期テスト。
③	主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	③実習・作品。授業の準備物。提出物。授業態度。

4 学習の手引き

使用教材	教科書 新しい技術・家庭 家庭分野 副教材 ワーク ICT機器 ※学校で1人1台用意します。	もちもの	教科書 ワーク その他、実習に必要なもの (教材に応じて授業等で連絡します)		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学 校</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・準備(教科書、ワーク、課題等)をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・先生の説明を集中して聞き、しっかりと授業に取り組もう。 ・実習時は安全に注意し、集中して取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・提出物の期限は必ず守ろう。 </td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学 習 方 法</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・定期テストに備えて、普段からしっかり復習をしておこう。 ・ワークは授業を受けたところまでを取り組み、丸つけまでしよう。 </td> </tr> </table>		学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・準備(教科書、ワーク、課題等)をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・先生の説明を集中して聞き、しっかりと授業に取り組もう。 ・実習時は安全に注意し、集中して取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・提出物の期限は必ず守ろう。 	学 習 方 法
学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・準備(教科書、ワーク、課題等)をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・先生の説明を集中して聞き、しっかりと授業に取り組もう。 ・実習時は安全に注意し、集中して取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・提出物の期限は必ず守ろう。 				
学 習 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストに備えて、普段からしっかり復習をしておこう。 ・ワークは授業を受けたところまでを取り組み、丸つけまでしよう。 				

【家庭科】年間指導計画 第2学年

月	単元名	内容
4	衣服の選択と手入れ	・衣服の働き
5	生活を豊かにするために	・衣服計画と必要な衣服の選択
6		・衣服の手入れ
7	布を用いた小物の製作	・製作計画
9		・生活小物の製作 作品製作
10	前期末テスト	
11	住まいの役割と安全な住まい方	・住まいと気候風土の関わり
12		・健康で快適な室内環境
1		・災害への対策
2	学年末テスト	・持続可能な住生活を目指して
3		

2026年度 飯南中学校 第3学年 家庭科のてびき

1 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	実習・作品。定期テスト。
②	思考・判断・表現	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	②実習・作品。ワーク。定期テスト。
③	主体的に学習に取り組む態度	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	③実習・作品。授業の準備物。提出物。授業態度。

4 学習の手引き

学 習 方 法	学 校	<p>使用教材</p> <p>教科書 新しい技術・家庭 家庭分野 副教材 ワーク</p> <p>ICT機器 ※学校で1人1台用意します。</p>	も ち も の	<p>教科書 ワーク その他、実習に必要なもの (教材に応じて授業等で連絡します)</p>
	家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・準備(教科書、ワーク、課題等)をきちんとしよう。 ・授業の準備物を忘れないようにしよう。 ・始業チャイムまでに用具の準備を済ませておこう。 ・先生の説明を集中して聞き、しっかりと授業に取り組もう。 ・実習時は安全に注意し、集中して取り組もう。 ・実習時は自分の用具を整理整頓し、終了時は周囲の後片付けもきちんとしよう。 ・提出物の期限は必ず守ろう。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・定期テストに備えて、普段からしっかり復習をしておこう。 ・ワークは授業を受けたところまでを取り組み、丸つけまでしよう。 		

【家庭科】年間指導計画 第3学年

月	単元名	内容	
4	私たちの消費生活 責任ある消費者になるために	消費者としての自覚	
5		・購入方法と支払方法	
6		・消費者トラブルとその対策	
7		・消費者としてできること	
9		・省エネルギーと持続可能な社会	
9		・持続可能な消費生活を目指して	
10		前期末テスト	
11		幼児の生活と家族	・幼児の体と心の発達
11			・幼児の生活習慣
12	後期中間テスト	・幼児の生活と遊び	
1			
2			
3			

2026年度 飯南中学校 第1学年 英語科のてびき

1 教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているか。	定期テスト、小テスト、ワークなどの練習問題、パフォーマンステスト(スピーチやプレゼンなど)
②	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり、伝え合ったりすることができる力を身に付けているか。	定期テスト、パフォーマンステスト(スピーチやプレゼンなど)、課題(学習した表現を活用して表現できているか)
③	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、知識及び技能、思考力、判断力、表現力を身に付けるために粘り強く取り組んでいるか。また、自分に合った学習方法を考えているか。	授業でのペア練習などの取り組みの様子、パフォーマンステスト(スピーチやプレゼンなど)への取り組みの様子、ふりかえり、学習の調整をしようとしているか

4 学習の手引き

使用教材	NEW HORIZON ENGLISH COURSE 1	もちもの	教科書、めきめきEnglish1 英語ワークノート、ファイル
学習方法	学校	教科書に沿って学習を進める。1ミニットーク、スモールトークなど英語のコミュニケーション能力を育成するために、聞くこと、読むこと、話すこと(発表・やりとり)、書くことの4技能を平均的に行いながら授業で進めていく。そのためにペア活動やグループ活動での英語でのコミュニケーションのやり取りを大切にしていく。生徒自身の発音ややり取りを振り返るなど、タブレット端末を効果的に活用していく。また、必要に応じた小テストを実施し、知識の定着を徹底していく。	
	家庭	ワーク、プリント、eライブラリの練習問題を繰り返し行い、基礎・基本を定着させる。 ノートに単語の意味や本文の英文と日本語を書いて、単語や熟語、英文の構造などを確認し練習する。 デジタル教科書で音声を確認しながら、授業で学習した教科書の本文を何度も声に出して音読する。	

【英語科】年間指導計画 第1学年

月	単元名	内容
4	Unit 0 Nice to Meet You	挨拶をしたり、質問したり、答えたりする アルファベットの名前と音、英語の語順
5	Unit 1 Hello, Everyone!	1人称、2人称が主語の一般動詞の文、be 動詞の文
6	Unit 2 Our New Teacher	3人称が主語の be 動詞の文、 can の文
7	Unit 3 Our School	What, Who, How, When, Where, 場所を表す前置詞
	Unit 4 Friends in New Zealand	How many, What time, What + 名詞, 命令文
	Stage Activity 1 "All about Me" Poster	既習事項の総復習
	夏休み特集 Our Summer Vacations	動詞の過去形
9	Unit 5 My Brother in Hawaii	3 人称単数現在形(一般動詞)の文
	Scene 1 コマーシャル	
10	Unit 6 A Rakugo Performer from the U.K.	人称代名詞の目的格, Which, Whose
	Scene 2 友達の家で	Can I ...? Can you ...?
	Unit 7 An Online Tour of the U.K.	現在進行形, 感嘆文(How ...! How ...!)
11	Scene 3 道案内	道案内で使う表現
	Unit 8 Think Globally, Act Locally	want(try, need) to 動詞, look 形容詞
12	Scene 4 レストラン	レストランで注文したり、勧めたりするときとその答え方の表現 既習事項の総復習
	Stage Activity 2 My Hero	
1	Unit 9 Winter Vacation	一般動詞の過去形(規則動詞・不規則動詞)
	Scene 5 旅先からの便り	
2	Unit 10 This Year's Memories	be 動詞の過去形, 過去進行形, There is(are) ~
3	Scene 6 病院にて	
	Stage Activity 3 My Favorite Event This Year	既習事項の総復習

2026年度 飯南中学校 第2学年 英語科のてびき

1 教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているか。	定期テスト、小テスト、ワークなどの練習問題、パフォーマンステスト(スピーチやプレゼンなど)
②	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり、伝え合ったりすることができる力を身に付けているか。	定期テスト、パフォーマンステスト(スピーチやプレゼンなど)、課題(学習した表現を活用して表現できているか)
③	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、知識及び技能、思考力、判断力、表現力を身に付けるために粘り強く取り組んでいるか。また、自分に合った学習方法を考えているか。	授業でのペア練習などの取り組みの様子、パフォーマンステスト(スピーチやプレゼンなど)への取り組みの様子、ふりかえり、学習の調整をしようとしているか

4 学習の手引き

使用教材	NEW HORIZON ENGLISH COURSE 2	もちもの	教科書、めきめきEnglish2、ノート、ファイル
学 校	教科書に沿って学習を進める。1ミニットトーク、スモールトークなど英語のコミュニケーション能力を育成するために、聞くこと、読むこと、話すこと(発表・やりとり)、書くことの4技能を平均的に行いながら授業で進めていく。そのためにペア活動やグループ活動での英語でのコミュニケーションのやり取りを大切にしていく。生徒自身の発音ややり取りを振り返るなど、タブレット端末を効果的に活用していく。また、必要に応じた小テストを実施し、知識の定着を徹底していく。		
学 習 方 法	ワーク、プリント、eライブラリの練習問題を繰り返し行い、基礎・基本を定着させる。 ノートに単語の意味や本文の英文と日本語を書いて、単語や熟語、英文の構造などを確認し練習する。 デジタル教科書で音声を確認しながら、授業で学習した教科書の本文を何度も声に出して音読する。		
家 庭			

【英語科】年間指導計画 第2学年

月	単元名	内容
4	Unit 0 My Spring Vacation	動詞の過去形
5	Unit 1 What can we experience on a trip? Scene 1 機内放送	be going to, 助動詞 will, SVOO, SVOC
6	Unit 2 What is local food? Scene 2 旅行先で	接続詞 when, if, because, that May I ~? Could you ~?
7	Unit 3 What kind of job are you interested in? Scene 3	不定詞(副詞的用法、形容詞的用法), It is...+to
9	仕事についてのインタビュー Stage Activity 1 My Favorite Japanese Food Let's Read 1 History of Clocks	既習事項の総復習
10	Unit 4 What is important in a homestay? Scene 4 ホームステイのお礼状	have to, do not have to, 助動詞 must, must not, 動名詞(目的語・主語) look forward to 動名詞
11	Unit 5 What design is good for everyone? Scene 5 アナウンス・案内	疑問詞+to, 主語+動詞+(人)+疑問詞+to 主語+be 動詞+形容詞+that Why don't you ~?
12	Unit 6 How can we make a good presentation? Scene 6 電車の乗りかえ	比較表現 (...er, the ...est, more..., the most..., better, best, as...as~) Could you tell me how to get to...? Take..., 主語+動詞+(人)+疑問詞+to
1	Stage Activity 2 My School and School Life Let's Read 2 A Glass of Milk	既習事項の総復習
2	Unit 7 What are World Heritage sites and their problems? Scene 7 買い物 Stage Activity 3	受け身(平叙文, 疑問文, by...つき, 助動詞つき)
3	Let's Have a Discussion.	May I ...?, Yes, please. I'm looking for ~ 既習事項の総復習

2026年度 飯南中学校 第3学年 英語科のてびき

1 教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。

2 評価の観点と内容 3 評価方法

	観点	内容	評価の対象となるもの
①	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けているか。	定期テスト、小テスト、ワークなどの練習問題、パフォーマンステスト(スピーチやプレゼンなど)
②	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり、伝え合ったりすることができる力を身に付けているか。	定期テスト、パフォーマンステスト(スピーチやプレゼンなど)、課題(学習した表現を活用して表現できているか)
③	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、知識及び技能、思考力、判断力、表現力を身に付けるために粘り強く取り組んでいるか。また、自分に合った学習方法を考えているか。	授業でのペア練習などの取り組みの様子、パフォーマンステスト(スピーチやプレゼンなど)への取り組みの様子、ふりかえり、学習の調整をしようとしているか

4 学習の手引き

使用教材	NEW HORIZON ENGLISH COURSE 3	もちもの	教科書、めきめきEnglish3、 英語ワークノート、ファイル
学習方法	学校	教科書に沿って学習を進める。1ミニットトーク、スモールトークなど英語のコミュニケーション能力を育成するために、聞くこと、読むこと、話すこと(発表・やりとり)、書くことの4技能を平均的に行いながら授業で進めていく。そのためにペア活動やグループ活動での英語でのコミュニケーションのやり取りを大切にしていく。生徒自身の発音ややり取りを振り返るなど、タブレット端末を効果的に活用していく。また、必要に応じた小テストを実施し、知識の定着を徹底していく。	
	家庭	ワーク、プリント、eライブラリの練習問題を繰り返し行い、基礎・基本を定着させる。 ノートに単語の意味や本文の英文と日本語を書いて、単語や熟語、英文の構造などを確認し練習する。 デジタル教科書で音声を確認しながら、授業で学習した教科書の本文を何度も声に出して音読する。	

【英語科】年間指導計画 第3学年

月	単元名	内容
4	Unit 0 Discover a New Side of Classroom	既習事項の復習
5	Unit 1 What is special about Japanese pop culture? Scene 1 ディスカッション	現在完了形(経験用法), SVOC (C=形容詞), SVOO (that節)
6	Unit 2 How do you choose your clothes? Scene 2 講演	現在完了形(完了・継続用法), 現在完了進行形
7	Unit 3 How can we save animals? Scene 3 グラフや表の活用 Stage Activity 1 Discover Japan	<It is ... (for+(人など))+to>の文, <want+(人など)+to>や<let [help]+(人など)+動詞の原形
9	Let's Read 1 A Mother's Lullaby Unit 4 How can we help each other in a disaster? Scene 4 町中での手助け	既習事項の総復習
10	Unit 5 What makes a good leader? Scene 5	間接疑問文と SVOO (what 節)の文, 現在分詞・過去分詞 Can I help you?, Shall I ~?, Would you like me to ~?
11	記事への意見 Stage Activity 2	名詞を修飾する文(接触節) 関係代名詞 who, that [which](主格・目的格)
12	My Activity Report Unit 6 What does it mean to be a global citizen? Scene 6 テレビの国際ニュース	意見とその理由や根拠を書くための基本的な表現
1	Stage Activity 3 Let's Have a Mini Debate.	既習事項の総復習
2		仮定法 主語を説明する関係代名詞
		既習事項の総復習